

# 親子で公園楽しもう

## 西九州短大生 マップ作成 みやき町

みやき町

西九州大学短期大学部幼児保育学科の学生13人が、「子ども・子育て支援 公園マップ アンケート」などを経て、約4

保育士の卵の視点で町内の公園を实地調査し、子どもたちが園内で楽しめる運動を分析した。育児世代に配り、公園の利用促進と子どもの運動機会の増加に役立てる。卒業研究の一環で、西田明

完成した公園マップ。お勤めの公園14カ所の施設情報を写真や記号を使って分かりやすく紹介している



なごう(域・学連携地域づくり)プロジェクト」を活用した。マップはA4判のリーフレットで計8ページ。町内全域の地図に公園59カ所の位置情報を記した。このうち遊具や駐車場、アクセスなどに優

## 遊具や駐車場 優れた14カ所選ぶ

れた14カ所を選び、内側の4ページを使って写真付きで紹介した。幼児期で獲得可能な「支える」「またぐ」など66の動作のうち園内でどれができるか、ボールの持ち込みが可能か、トイレはあるかなどを分かりやすく記した。保育・子ども学の視点から、健康的な運動習慣の形成や認知能力の発達面に効果があることも紹介した。

12日、みやき町役場三根庁舎で贈呈式があり、同短大部から町へ1250部が贈られた。实地調査を担当した江越梨奈さん(20)「佐賀市」は「公園を見つげるのに苦労し、遊具がさび付き危険なものもあった」と改善点も指摘。「室内で遊ぶ子どもが増えているが、親子そろってマップを見て、公園を利用してもらうきっかけになれば」と話した。マップは子育て支援施設や庁舎窓口において育児世代に配布し、町は増刷も検討中という。(大橋諒)

西九州大学短期大学部の学生(中央)から、出来上がったばかりの公園マップが園児に贈られた=みやき町役場三根庁舎